

特別講演 2

7月15日(水) 10:10~11:10

第1会場 パシフィコ横浜ノース1階『G5 + G6 + G7 + G8』

患者と医師の融合の力



梅宮 アンナ
タレント・モデル



仁科 亜季子
女優



三階 貴史
北里大学医学部
乳腺・甲状腺外科学 教授



明石 定子
東京女子医科大学医学部
乳腺外科 教授

消化器外科医は、日々、難しい手術や周術期管理に全力で取り組んでいます。しかし、患者が抱える「告知後のショック」「治療による身体の変化への戸惑い」「社会復帰への不安」といった心の問題や生活面の悩みは、忙しい診療の中で見落とされやすいのが現状です。

本企画では、2024年にステージ3の乳がんを公表し治療を続けている梅宮アンナ氏、そして四度のがんを経験し乗り越えてきた仁科亜季子氏をお招きします。さらに、乳がん治療と患者のQOL向上に尽力する北里大学の三階貴史教授と東京女子医科大学の明石定子教授にもご参加いただき、がんサバイバーのリアルな声と専門医の視点を交えて議論します。

消化器外科医が「がん治療のプロフェッショナル」として、手術の成功だけでなく、その先にある患者の人生や心のケアにどう向き合うべきかを、改めて考える機会とします。